



2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年2月6日
上場取引所 東

上場会社名 八千代工業株式会社
 コード番号 7298 URL <https://www.yachiyo-ind.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 可知 浩幸
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 堀田 貢市 (TEL) 04-2955-1211
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	139,976	17.8	7,855	1.3	8,873	8.3	5,369	11.8	4,119	6.3	6,327	2.4
2022年3月期第3四半期	118,864	3.2	7,757	87.0	8,196	99.3	4,804	—	3,874	—	6,179	700.7

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	171.98	—
2022年3月期第3四半期	161.83	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	141,901	81,214	66,667	47.0
2022年3月期	143,279	76,399	62,583	43.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	6.00	—	12.00	18.00
2023年3月期	—	17.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当 たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	9.6	10,000	△4.9	11,000	△7.6	6,000	△6.3	4,500	△12.7	187.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
新規 一社（社名） 一、除外 一社（社名） 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	24,042,700株	2022年3月期	24,042,700株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	89,322株	2022年3月期	103,196株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	23,948,497株	2022年3月期3Q	23,939,525株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おきください。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上収益は、依然として半導体供給不足による受注の減少や、中国での新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う受注の減少はあるものの、日本及びアジアでの新型コロナウイルス感染症による生産減に伴う受注の減少からの持ち直しや、為替換算上の増収影響などにより、1,399億7千6百万円と前年同期に比べ211億1千2百万円、17.8%の増収となりました。利益につきましては、営業利益は、原材料等の価格高騰影響はあるものの、為替換算上の影響などにより、78億5千5百万円と前年同期に比べ9千8百万円、1.3%の増益となりました。税引前四半期利益は、為替差益などにより、88億7千3百万円と前年同期に比べ6億7千7百万円、8.3%の増益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、41億1千9百万円と前年同期に比べ2億4千5百万円、6.3%の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

日本においては、売上収益は、二輪部品での新型コロナウイルス感染症による生産減に伴う受注の減少からの持ち直しなどにより、194億6百万円と前年同期に比べ12億2百万円、6.6%の増収となりました。税引前四半期利益は、受注の増加はあるものの、販売費及び一般管理費の増加や原材料等の価格高騰影響などにより、10億2千4百万円と前年同期に比べ6億3千4百万円、38.2%の減益となりました。

(米州)

米州においては、売上収益は、依然として半導体供給不足による受注の減少はあるものの、機種構成差や為替換算上の増収影響などにより、270億8千2百万円と前年同期に比べ64億2千1百万円、31.1%の増収となりました。税引前四半期損失は、原材料等の価格高騰影響はあるものの、為替差益などにより、21億9千6百万円と前年同期に比べ2千5百万円の改善となりました。

(中国)

中国においては、売上収益は、依然として半導体供給不足による受注の減少や、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う受注の減少はあるものの、為替換算上の増収影響などにより、414億3千万円と前年同期に比べ37億1千万円、9.8%の増収となりました。税引前四半期利益は、受注の減少や原材料等の価格高騰影響はあるものの、原価改善効果や為替換算上の影響などにより、71億7千2百万円と前年同期に比べ2億7千7百万円、4.0%の増益となりました。

(アジア)

アジアにおいては、売上収益は、新型コロナウイルス感染症による生産減に伴う受注の減少からの持ち直しや、為替換算上の増収影響などにより、520億5千8百万円と前年同期に比べ97億7千9百万円、23.1%の増収となりました。税引前四半期利益は、原材料等の価格高騰影響はあるものの、受注の増加などにより、27億8千9百万円と前年同期に比べ10億1百万円、56.0%の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、1,419億1百万円と前年度末に比べ13億7千8百万円の減少となりました。減少した要因は、その他の金融資産が19億9千6百万円増加したものの、営業債権及びその他の債権が21億4千8百万円、有形固定資産が13億8千7百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は、606億8千7百万円と前年度末に比べ61億9千3百万円の減少となりました。減少した要因は、その他の金融負債が9億7千2百万円増加したものの、営業債務及びその他の債務が30億7百万円、借入金が25億3千2百万円減少したことなどによるものであります。

資本合計は、812億1千4百万円と前年度末に比べ48億1千6百万円の増加となりました。増加した要因は、利益剰余金が34億2千2百万円、非支配持分が7億3千2百万円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、法人所得税の支払額42億4千5百万円、営業債務及びその他の債務の減少額31億6千8百万円、有形固定資産の取得による支出29億9千8百万円などはあったものの、税引前四半期利益88億7千3百万円、減価償却費及び償却費62億3千9百万円などにより、323億2千1百万円となり、前年度末に比べ6千7百万円増加しました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの前年同期に対する増減要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、法人所得税の支払額42億4千5百万円、営業債務及びその他の債務の減少額31億6千8百万円などはあったものの、税引前四半期利益88億7千3百万円、減価償却費及び償却費62億3千9百万円などにより、前年同期に比べ37億9千6百万円増加し、90億9千5百万円（前年同期は53億円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、有形固定資産の取得による支出29億9千8百万円、定期預金の預入11億4千4百万円などにより、前年同期に比べ1億1千万円増加し、45億8千5百万円（前年同期は44億7千5百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、配当金の支払額15億1千9百万円、長期借入金の返済による支出15億円、短期借入金の純減額11億6千7百万円などにより、前年同期に比べ73億4千1百万円増加し、45億5千9百万円（前年同期は27億8千2百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年11月1日の決算発表時に公表いたしました業績予想を変更しておりません。なお、予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因の変化によって大きく異なる結果となる可能性があります。今後修正の必要性が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	32,253	32,321
営業債権及びその他の債権	31,988	29,840
その他の金融資産	2,323	4,182
棚卸資産	16,658	16,475
その他の流動資産	1,263	1,321
流動資産合計	84,486	84,139
非流動資産		
有形固定資産	49,568	48,181
無形資産	3,097	2,986
使用権資産	761	730
その他の金融資産	842	979
繰延税金資産	1,825	2,325
退職給付に係る資産	2,422	2,320
その他の非流動資産	278	240
非流動資産合計	58,793	57,762
資産合計	143,279	141,901

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	25,086	22,079
借入金	13,930	12,898
その他の金融負債	775	691
未払法人所得税	1,199	1,188
引当金	1,239	562
その他の流動負債	5,270	4,358
流動負債合計	47,499	41,777
非流動負債		
借入金	3,000	1,500
その他の金融負債	2,610	3,665
退職給付に係る負債	6,609	6,655
引当金	940	1,006
繰延税金負債	5,730	5,627
その他の非流動負債	492	456
非流動負債合計	19,381	18,910
負債合計	66,880	60,687
資本		
資本金	3,686	3,686
資本剰余金	3,500	3,501
利益剰余金	47,356	50,779
自己株式	△60	△53
その他の資本の構成要素	8,101	8,755
親会社の所有者に帰属する持分合計	62,583	66,667
非支配持分	13,816	14,548
資本合計	76,399	81,214
負債及び資本合計	143,279	141,901

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	118,864	139,976
売上原価	△100,992	△120,942
売上総利益	17,872	19,034
販売費及び一般管理費	△8,536	△9,354
研究開発費	△1,732	△2,160
その他の収益	235	370
その他の費用	△82	△36
営業利益	7,757	7,855
金融収益	516	1,139
金融費用	△76	△121
税引前四半期利益	8,196	8,873
法人所得税費用	△3,393	△3,504
四半期利益	4,804	5,369
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,874	4,119
非支配持分	930	1,251
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	161.83	171.98

要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	4,804	5,369
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動	△782	28
純損益に振り替えられることのない項目 合計	△782	28
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2,156	930
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	2,156	930
その他の包括利益合計	1,375	958
四半期包括利益	6,179	6,327
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	5,200	4,773
非支配持分	978	1,554

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
2021年4月1日残高	3,686	3,490	42,449	△60
四半期包括利益				
四半期利益			3,874	
その他の包括利益				
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資 産の純変動				
在外営業活動体の換算差額				
四半期包括利益合計	—	—	3,874	—
所有者との取引等				
自己株式の取得				
自己株式の処分				
剰余金の配当			△336	
株式報酬取引		7		
所有者との取引等合計	—	7	△336	—
2021年12月31日残高	3,686	3,498	45,987	△60
2022年4月1日残高	3,686	3,500	47,356	△60
四半期包括利益				
四半期利益			4,119	
その他の包括利益				
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資 産の純変動				
在外営業活動体の換算差額				
四半期包括利益合計	—	—	4,119	—
所有者との取引等				
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				7
剰余金の配当			△696	
株式報酬取引		0		
所有者との取引等合計	—	0	△696	7
2022年12月31日残高	3,686	3,501	50,779	△53

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素					
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計			
2021年4月1日残高	824	2,273	3,097	52,663	12,353	65,015
四半期包括利益						
四半期利益				3,874	930	4,804
その他の包括利益						
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	△782		△782	△782		△782
在外営業活動体の換算差額		2,108	2,108	2,108	49	2,156
四半期包括利益合計	△782	2,108	1,326	5,200	978	6,179
所有者との取引等						
自己株式の取得				—		—
自己株式の処分				—		—
剰余金の配当				△336	△540	△876
株式報酬取引				7		7
所有者との取引等合計	—	—	—	△329	△540	△869
2021年12月31日残高	43	4,381	4,423	57,534	12,791	70,325
2022年4月1日残高	241	7,860	8,101	62,583	13,816	76,399
四半期包括利益						
四半期利益				4,119	1,251	5,369
その他の包括利益						
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	28		28	28		28
在外営業活動体の換算差額		626	626	626	303	930
四半期包括利益合計	28	626	654	4,773	1,554	6,327
所有者との取引等						
自己株式の取得				△0		△0
自己株式の処分				7		7
剰余金の配当				△696	△823	△1,519
株式報酬取引				0		0
所有者との取引等合計	—	—	—	△689	△823	△1,512
2022年12月31日残高	269	8,486	8,755	66,667	14,548	81,214

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	8,196	8,873
減価償却費及び償却費	5,671	6,239
金融収益	△516	△1,139
金融費用	76	121
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△1,895	2,618
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,542	619
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△877	△3,168
引当金の増減額(△は減少)	△296	△814
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	76	47
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	114	102
その他(純額)	17	△436
小計	8,024	13,063
利息及び配当金の受取額	254	382
利息の支払額	△75	△105
法人所得税の支払額又は還付額	△2,903	△4,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,300	9,095
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,716	△2,998
有形固定資産の売却による収入	36	67
無形資産の取得による支出	△855	△509
定期預金の預入又は払戻(純額)	1,048	△1,144
その他(純額)	12	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,475	△4,585
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,491	△1,167
長期借入金の返済による支出	△1,500	△1,500
自己株式の取得による支出	—	△0
自己株式の処分による収入	—	7
親会社の所有者への配当金の支払額	△336	△696
非支配持分への配当金の支払額	△540	△823
その他(純額)	△332	△379
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,782	△4,559
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,607	△49
現金及び現金同等物に係る換算差額	862	116
現金及び現金同等物の期首残高	21,738	32,253
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,207	32,321

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	18,204	20,661	37,720	42,279	—	118,864	—	118,864
セグメント間の内部売上収益	6,547	119	1,334	867	—	8,867	△8,867	—
合計	24,751	20,779	39,055	43,146	—	127,731	△8,867	118,864
セグメント利益(△損失) (税引前四半期利益又は損失)	1,658	△2,221	6,895	1,788	2	8,122	75	8,196

(注) 1 「調整額」の内容は、次のとおりであります。

(1) 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。

(2) セグメント利益(△損失)の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

2 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	19,406	27,082	41,430	52,058	—	139,976	—	139,976
セグメント間の内部売上収益	6,704	14	1,210	1,694	—	9,622	△9,622	—
合計	26,110	27,096	42,640	53,752	—	149,598	△9,622	139,976
セグメント利益(△損失) (税引前四半期利益又は損失)	1,024	△2,196	7,172	2,789	1	8,790	83	8,873

(注) 1 「調整額」の内容は、次のとおりであります。

(1) 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。

(2) セグメント利益(△損失)の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

2 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。